



元氣とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 2025年08月25日 第1231「週刊五十嵐レポート」

少子化

8月24日付日経新聞、「チャートは語る」は「伝統系能 探せ『国宝の卵』」という記事。歌舞伎、能楽などの後継者育成事業に応募する人数が激減している。エンターテインメントの市場が拡大する中で伝統芸能は人気低迷し、少子化や娯楽の多様化も追い打ちをかける。2000年に1500人いた能楽師は現在1000人強、2040年には600人台まで減る見込み。

同日付日経新聞、「直言」は王貞治・球心会代表のインタビュー。プロ野球の観客動員数が過去最多を更新する一方、子どもから大人までじわりと野球離れが進んでいる。2005年野球人口は160万人だったが現在は100万人を割り込んでいる。

3月2日付日経新聞、「大相撲待ったなし」という記事。大相撲の力士数減少に歯止めがかからない。春場所の番付に載った力士数は588人と平成以降でほぼ最少、「若貴兄弟」ブームだった1994年夏場所(943人)のピークから6割の規模に。将来の半減も現実味を帯びる。

4月12日付朝日新聞、「大工急減」という記事。大工は1990年代、民間企業の「大人になったらなりたいものランキング」で1位だった。最近では11位以下の「圏外」に。国勢調査によれば、「大工就業者数」は80年の93万人をピークに減り続け、2020年には30万人を割った。35年にはさらに約15万人にまで減る、という試算もある。

人材減少の対策で、すべてに共通するのは、人材育成の仕組み作り。少子化による人口減は、あらゆる産業に携わる人材が減少すること。どの業界にも人材獲得の競争が始まっている。人口増では考えられなかったこと。野球界における王氏は言う。「まずは子どもたちに野球を楽しんでもらうこと。昔の指導は上意下達(じょういかたつ)の軍隊式を改めないといけない。野球は下手な子もいないと成り立たない。まずは褒めてあげる。するとまたやりたいって気になるでしょう」。

中小企業の人材獲得も同じ。今後人材を獲得するのはどんどん難しくなる。集める仕組みと育てる仕組み、そして結果を出す仕組みを構築していく。誰が作るの？社長しかいない。

ちょっと
気になる出来事

8月21日付日経新聞、「価格は語る」は納豆。

納豆1パックの平均店頭価格が100円を超えて定着し始めた。特売の目玉とされやすく、メーカーが値上げをしても価格競争に陥りがちだったが、この流れから脱しつつあると。

物価高の中での割安感、健康に良いとの見方が広がった点。調理不要の手軽さがうけ、消費が拡大。ご飯にかける「お供」としてだけでなく、「副菜」として選ばれている。

これまで納豆業界では「100円の壁」があった。21年ごろから原料の大豆の輸入価格が上昇、原油高によって包装材も値上り、物流費や人件費も上昇、主要メーカーは複数回にわたり値上げを実施。それでも販売は減っていない。納豆の市場規模は24年2874億円と過去最高を記録。

食べ方の多様化。「ご飯にかけずに食べることがほとんど」との回答が20%。

今では私もご飯にかけずに食べる派になっている。近くのスーパーで価格をみると、おかめ納豆の「極小粒ミニ3」は99円。それ以外は100円以上。いつも食べる「すごい納豆s-903」は138円。



一口メモ
知識

才能

他人が自分を認めてくれないと嘆く者は多いが、自分が周りにいる他人の才能や長所に気づかないことを嘆くのが先だろう。他人の能力に気づく能力を身につけてみなよ、そんな人物を世間が放っておくと思うかね。

「高校生が感動した『論語』」(祥伝社新書/佐久協)より

- 「戦略社長塾東京」小岩校 毎週日曜日・水曜日 午前10時～12時
- 「戦略社長塾東京」銀座校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5
TEL03-3659-7703 Fax03-3659-7077 info@igarashireport.com

